

1 単元名 Unit 6 Break the Barrier

2 単元の目標

- 教科書や辞書を活用したり、既習事項を活用したりして、歴史的人物について英文で書こうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 接触節や関係代名詞を用いた人物紹介を正しく口頭で発表している。(外国語表現の能力)
- 接触節や関係代名詞を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解している。  
(外国語理解の能力)
- 接触節や関係代名詞を用いた文の形・意味・用法について理解している。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元の指導について

(1) 教材観

本単元では、20世紀の偉人についてレポートをまとめる学習を展開していく。教科書の本文ではジャッキー・ロビンソンを取り上げているが、他教科との連携も兼ね、生徒には社会科で学習した人物についてレポートを書かせたい。人物についての調べ学習では、社会科で学習した知識に加え、タブレットパソコンを活用して情報を収集し、その人物についての興味関心を高めさせたい。

また、本単元の活動を通して、後置修飾や不定詞などの既習表現や新しく学習する関係代名詞を用いることで、人物についてより詳しく説明できるようになることが期待される。

(2) 生徒の実態（男子\*人，女子\*人，計\*人）

平成\*年\*月\*日実施

実 態 調 査	1	前置詞句による後置修飾の文構造を理解している生徒	*人
	2	現在分詞による後置修飾の文構造を理解している生徒	*人
	3	過去分詞による後置修飾の文構造を理解している生徒	*人
意 識 調 査	1	一番得意な活動と苦手な活動は何ですか。 ・英語で話すこと 得意 *人 苦手 *人 ・英文を聞いたり、読んだりして、内容を理解すること 得意 *人 苦手 *人 ・自分の考えや感想を加えて英語で正しく書いたり話したりすること 得意 *人 苦手 *人 ・英語の文法について理解すること 得意 *人 苦手 *人	
	2	グループワークを通して、以前より「できる」ようになったことはありますか。 ある *人 ない *人	
	3	(2について)「できる」ようになったこととは何ですか。 ・難しい課題も、友達と考えることでわかるようになった。 ・わからないところをそのままにせず、きちんと理解して次に進むことができるようになった。 ・自分の意見を人に伝えることができるようになってきた。 ・自分の答えに自信をもつことができるようになってきた。	

実態調査から、現在分詞や過去分詞による後置修飾を理解している生徒は半数以上いることがわかる。しかし、前置詞句による後置修飾の文構造を理解している生徒は少ない。後置修飾は、語順や修飾関係などにおける日本語と英語の大きな違いがあるため、理解が不十分であると考えられる。

意識調査から、多くの生徒が「英語で話すこと」を一番得意としていることがわかる。また、「自分の考えや感想を加えて英語で正しく書いたり、話したりすること」を一番苦手としていることがわかる。

英語学習においては、グループワークを中心に授業を展開してきた。その成果として、「自分では気付けないことに気付くことができる」「わからないところを教え合える」などといった理由から、以前と比較しても、グループワークで学習が深まってきている。グループ内で協働学習をすることで、少しずつではあるが自信がついてきている生徒も少なくない。

(3) 指導観

本校の組織目標は「生徒の可能性と主体的な学びを引き出す授業の工夫・改善に努める」である。また、

英語科では、卒業時の目標として「自分の意見や考えについて6文以上の英文で書くこと」を目標として指導している。そこで、主体的な学びを引き出す手立てとしてグループワークを展開してきた。それにより、一斉学習で授業を展開していた時と比べ、生徒同士で学び合ったり、理解を深めたりする姿が増えてきている。

本単元では、新出表現の関係代名詞を含め、後置修飾や不定詞などの既習事項を活用して、人物についてたくさん情報を英文化していく。その際、個人で書き悩んでしまうのではなく、グループで取り組むことで、より多くの、そしてより具体的な英文に仕上げることを期待する。新出表現だけではなく、既習表現も活用して英文を書くことで、グループに対するポイント加算制にし、生徒の意欲喚起の手立てとする。多くの表現方法を活用して書くことで、言語活動の活性化への手立ての1つとしたい。また、英文を書くことで終わらず、それらを周囲に発信するためにクイズ大会へと繋げる。クイズ大会では、出題者と解答者が英語でやり取りをしながら答えとなる歴史的人物を当てていき、正解者には人物事典カードを贈る活動とする。最終的には全グループの人物事典カードを揃えることで、1冊の人物事典の完成を目指す。答えを導き出すための英問英答のやり取りや、自分たちが作成した英文が相手に伝わったときの達成感や充実感を今後の英語学習の意欲につなげていきたい。

#### 4 指導計画（8時間扱い）

	学習活動・内容	評価規準
1	・接触節の文の形・意味・用法を理解し、身の回りのものについて表現する。	・接触節を用いたの文の形・意味・用法について理解している。 (言語や文化についての知識・理解)
2	・主格の関係代名詞whoの文の形・意味・用法を理解し、友達について表現する。	・関係代名詞を用いたの文の形・意味・用法について理解している。 (言語や文化についての知識・理解)
3	・教科書(P.62-63)を読んで、ジャッキーロビンソンについて読み取る。	・接触節を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することができる。 (外国語理解の能力)
4	・主格の関係代名詞which/thatの文の形・意味・用法を理解し、様々な問題に挑戦する。	・関係代名詞を用いたの文の形・意味・用法について理解している。 (言語や文化についての知識・理解)
5	・教科書(P.64-65)を読んで、ジャッキーロビンソンについて読み取る。	・関係代名詞を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することができる。 (外国語理解の能力)
6	・外国の歴史的人物について調べ、接触節や関係代名詞を用いた英文で書く。	・教科書や辞書を活用したり、既習事項を活用したりして、歴史的人物について英文で書こうとすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
7	・グループごとに人物辞典カードを完成し、クイズ大会の準備をする。	・教科書や辞書を活用したり、既習事項を活用したりして、歴史的人物について英文で書こうとすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
8 本時	・人物辞典カードを使って、クイズ大会をする。	・接触節や関係代名詞を用いた人物紹介を正しく口頭で発表することができる。 (外国語表現の能力)

#### 5 本時の指導

##### (1) ねらい

接触節や関係代名詞を用いた人物紹介を正しく口頭で発表することができる。(外国語表現の能力)

##### (2) 準備・資料

トピックカード、テレビ、パソコン、英作文ノート、予測カード、ワークシート、和英辞典、糸電話、人物辞典カード、タイマー

##### (3) 展開

学習活動・内容	支援の手立て・評価（※評価）		
	T1	T2	ALT
1 英語で簡単な挨拶をする。	・元気に挨拶をして、英語を学習する雰囲気を作る。		
2 帯活動をする。 (1) 3～4人のグループになり、トピックカードを引く。	・意見交換会のデモンストレーションを行い、モデルとなるようにする。 ・前単元の復習となるよう、“I agree...”や“I think...”とい		

(2) トピックカードのテーマについて、賛成か反対かなど、自分の意見を交換する。

- ・ った表現を用いて自分の意見を伝えるよう助言する。
- ・ 本時のクイズ大会に繋がるように、相手の目を見ながら自分の意見を伝えるよう助言する。
- ・ 自分の意見が1つでも多く伝えられるよう、事前に英文でまとめたノートも活用するように助言する。
- ・ 英語で話すことに苦手意識をもっている生徒や対話が行き詰ったグループに対し、ヒントを与えるなど支援する。

- ・ 英語を話すことを得意とする生徒に対し、例や理由を加えて意見を伝えることができるように補助質問をする。

3 本時の学習課題を把握する。

人物あてクイズ大会をして、接触節や関係代名詞の使い方を身に付けよう。

- ・ 本時の学習課題を明確にし、グループ学習の必要性を感じさせ、目的意識をもって本時の学習に取り組めるようにする。

4 本時の活動を理解する。

- ・ 本時の活動の見通しがたてられるように、パワーポイントを使って説明したり、デモンストレーションを行う。

5 クイズ大会をする。

- ・ グループごとの座席を、出題ブースとする。
- ・ 各グループ2人がブースに残って出題者となり、他のメンバーは解答者として、他のブースに移動する。
- ・ 出題者は、1つずつヒントを与えたり、解答者からの質問に答えたりする。
- ・ 正解したら、人物辞典カードを渡す。
- ・ 2分間で2人の人物についてのクイズに挑戦する。

- ・ 全体を観察しながら、タイマーを使用して進行する。
- ・ 活動が進まないブースには補助質問をするなど支援する。

- ・ 苦手な生徒のペアに付き添い、時間内に解答を導き出せるよう支援する。

- ・ アイコンタクトを取りながら会話をしたり、ジェスチャーを工夫しながら伝え合えるよう助言する。
- ・ 全体の活動を観察し、活動が滞っているブースで補助質問をするなど支援する。

- ・ 一人一人の発話量を確保するために2人組で活動させる。また、2分間に2問という設定にすることで、友達と協力しながら集中して活動に取り組めるようにする。

※接触節や関係代名詞を用いた人物紹介を正しく口頭で発表することができる。(観察, 評価カード)

接触節や関係代名詞の文を用いてクイズを出題している。

6 本時の学習を振り返る。

- ・ 本時の振り返りと自己評価をする。

- ・ 目標を意識しながら振り返りと自己評価を記入し、本時の学習を見直す。

7 英語で挨拶をする。

- ・ 本時の学習の良かった点を挙げ、次時の学習への意欲喚起を図る。